



# 『昭和天皇』

## 大喪の礼

一月七日早朝崩御された昭和天皇の本葬にあたる「大喪の礼」が四十九日目に当る、二月二十四日、古式にもとずき、おごそかに営まれた。

この日、朝から雨雲が重くたれこめて日本列島を覆い、小雨や小雪がちらついて、日本国民の悲しみをより一そう深いものにするかのようにであった。午前九時三十分、昭和天皇のひつぎを乗せた輜車は前後を皇宮警察の黒いサイドカーに守られて葬列を組み、二十一発の弔砲が鳴り響く中、二重橋を渡って、葬場の新宿御苑へ進んだ。小雨の降りしきる沿

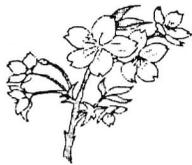
道では、消防庁音楽隊などの演奏する「哀之極」の悲しい調べが流れ、数十万人の人々が御見送りした。

午前十時三十分より、皇室の儀式である「葬場殿の儀」が行われ、続いて国の儀式である「大喪の礼」が行われ、正午を期して一分間の黙祷をし、参列者が順次拜礼した。

午後三時より、東京都八王子市の武蔵野陵墓地にて「陵所の儀」が行われ、御愛用品を添えて埋葬され、一連の儀式が終了した。この日、官庁や企業、商店街などは業務を自粛し休日にする所が多かった。又、テレビ等も午後

愛 知 県  
板 金 工 業 組 合

名古屋市昭和区  
北山町 3-8-6  
電話 732-1226  
発行 広報委員会



三時頃まで、葬儀の様を放映し、日本国民悲しみの一日となった。しかし政教分離が明確でなかったり、百億円を越す費用など、大喪の礼に批判的な国民層も多く問題点を残した。又、天皇問題を考える会など、いろいろのグループが各地で集会を開いたり、天皇の戦争責任追求の声は内外に依然として根強くあり、今後も議論が続くであろう。

かくして、昭和天皇がこよなく愛された自然が広がる武蔵野陵墓地で永遠の眠りにつかれ、激動の昭和史も終えんとなった。

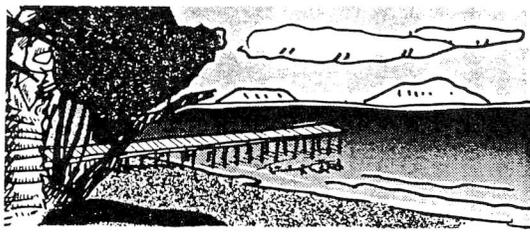
### 「共同保証事業」

#### 受付開始迫る！

二月二十一日、「共同保証委員会」が開催され、本年度の重点活動事業である「共同保証事業」の内容変更作業が大詰めを迎えた。保証制度を導入するにあたり、「保証委員会」が発足して久しい。組合設立以来、初めての事業であるため、他県板の内容等を参考にしながらのマニアル作り、委員一同大変苦労された。

その間、保証内容、検査要項、保証センター設立など、次々に問題点が発生して、実施にこぎつけなかったが、今年度に入り、まず「保証委員会」を整備し委員会内の運営、検査、管理、の各部会が精力的に内容等について再検討した結果、「共同保証事業のすべて」と題した新しいマニュアルが完成の運びとなり、三月十九日の名古屋、尾張ブロックの、検査員、適用事業所の説明会を手始めに、知多、西三ブロックで順次開催し、新年度には保証

事業第一号が申請される見通しとなった。又これにとまない二月末日現在三〇〇の事業所が「保証制度適用の店」の資格を得ているが、愛知県傘下の組合員数からすると約三割くらいはの事業所数の資格を得るための四講習を再検討し確立の高い部分から講習を進め、最終的には全組合員が「保証制度適用の店」の看板をかかげるよう鋭意努力してゆきたい。



愛知県板金工業組合では、一昨年の中国旅行に続き今回は好評のオーストラリアを計画いたしました。オーストラリアは、1901年イギリス連邦内の自治領として政治的に独立した歴史の浅い国ですが、自然に恵まれ、素朴であたたかい雰囲気のある国です。そして、おらかな国民性のため犯罪件数が少なく、日本国内なみの治安のよさで、安心して旅を楽しむ事が出来ます。

オーストラリアは日本のほぼ真南にあり、時差も約1時間です。実施予定の6月は冬期になりますが日本の4~5月頃の気温とのことです。日本からの海外旅行一番人気の国・オーストラリアへ一緒に出掛けませんか。

多数の参加をお待ちしております。内容等については事務局へ問合せ下さい。

- 1. 申込先 愛知県板金工業組合 名古屋市昭和区北山町3-8-6  
申込用紙は各支部長もしくは組合事務局へ申し出て下さい。
- 2. 申込期限 平成元年3月31日 <必着>
- 3. 日程 平成元年6月17日～6月24日(土)8日間予定
- 4. 参加費用 ￥375,000
- 5. 渡航手続費用 有効なパスポートお持ちの方￥6,000 お持ちでない方￥8,000(共にオーストラリア査証含む)



### 第11回 全板連青年部 全国技能競技大会で

#### 愛知代表 神谷 聡氏 制覇す!!

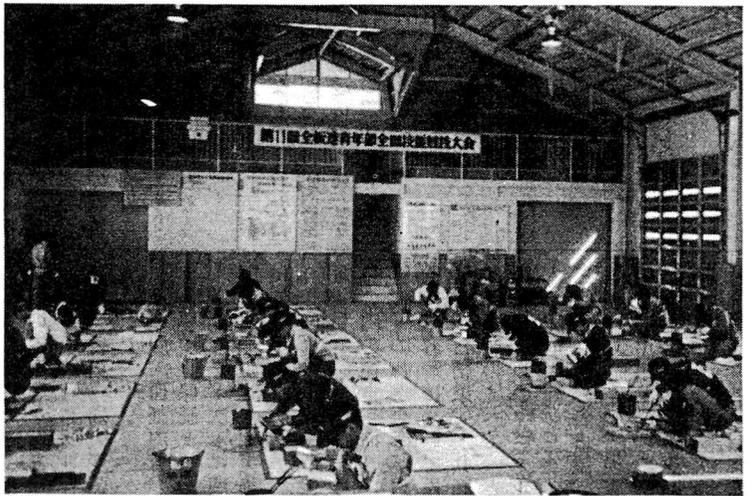
昭和から平成へと年号が改められ、何か良き空想を抱き冥想の内に競技大会の日程が決り、愛知からは2名の選手が選出され出場となった。先の愛板2月号に東三地区広報担当より掲載された通り、予選大会は接戦を迫し、審査委員の方々には選考にあたり大変苦慮された由、難関を突破され晴れて県代表として知多支部 神谷 聡氏 碧南支部 神谷定幸氏の2名が決定された。



神谷 聡氏・神谷定幸氏

憧れの日本の王座をめざすその日が訪れた。それは去る2月10日、11日の2日間である。競技会場になる会場は地元宮崎では、待望の新しい設備を具備された職業訓練所とあって、地元テレビ局では再三にわたって報道され注目の的となった。前日には竣工式が行われたとの由、名実ともに「コケラ落し」との感じがしました。参加代表は北は青森、南は鹿児島県までの代表で、出場選手は総数25名の接戦となる。愛知からは2名の代表で「ゼッケン」13、24の背番号で臨んだ。恒例の開会式の後、競技に関する諸説明と持参工具類の点検、付添者への説明に終り、翌

2日目、即ち翌11日の午前8時30分競技開始日頃の修練並に研究の被露の場とあって真剣そのもの、検定時間も長いようで短く、12時25分競技終了し作品の提出、今までの緊張の疲れが出て、肩の荷が落ちた様な感じだったとの事、又御両人はこれからの将来に励みとなり、悔いのない闘い、その体験は出場した選手でなければ味わえない、英雄的存在と生



涯忘れる事の出来ない思い出となる事でしょう。競技の結果は3月中旬全板連より発表され、神谷聡氏の優勝が確定した。私達組合員は同僚の一員として、精一杯闘った戦士に賞賛と拍手をおくりたい。又選手の付添として同行して頂いた役員の方々には心からお礼を申し上げます。知多 沼澤

### 第15回 新春板金セミナー開催

恒例となった新春板金セミナーが1月29日9時30分から西区の愛知県職業訓練会館2階大研修室で開催された。名古屋板金連合会の名古屋板金連合会の大脇和氏の司会で10時から開始された。開会のことばを名古屋板金連合会会長の村上章氏、続いて愛知県板金総合職業訓練協会会長羽柴弘和氏の挨拶があった。来賓の挨拶には、全板連議員連盟に愛知県から参画していただいている、衆議院議員の片岡武司氏から、今年の名古屋デザイン博の年であり、最近では建物もいろいろなデザインの外観で建てられるので、板金業界もデザインには無関心ではないと、一緒に頑張って勉強したいと挨拶。また愛知県板金工業組合理事長平野弘氏は、愛知県板金高等職業訓練校発足以来35年たった今、柴田先生の意見を引き継いでこられた、羽柴会長並びに長谷川校長には感謝しますと挨拶があった。

連合会専務理事の篠原英一氏には多忙のなか東京から駆け付けていただきご祝辞をいただいた。開会の頃は空席が目立ったが講演が始まる頃には会場から溢れんばかりの人でいっぱいであった。今年の講師は国際センター民間大使のシ・ガポールの文化と日本」と題した講演を聞いた。先生はシ・ガポールの国立大学を卒業し名古屋の南山大学に学んでおられる。日本にきて1年半というのにとっても日本語が旨い。シ・ガポールの先端にある人口二六〇万人の国で、以前はイギリスの植民地であった、多民族国家でその76%が中国人ついでマレー人インド人、イギリス人といろんな人種の人がいる。国の共通語は英語になっているが、実情は北京語が主でマレー語インド語タミール語など様々の言葉が使われている。通貨はシンガポールドルで1ドル70円。学校教育は国から無料で

受けられる、六才で小学校に入り、三年でテストを受けて三コースに別れ6年制と8年制に、6年制からテストを受けて65人が中学へ4年間学べる、また優秀な生徒45人が2年制の高校へ進学さらに4人の優秀な学生が大学へ進むことができるとのお話であった。一九七二年には産児制限運動があったが85年には子供不足になり現在は日本と同じく3人目かどだ。東南アジアの中心都市赤道直下の常夏の国は、ランが咲き乱れ素晴らしい国と聞く。最後に質疑応答があり講演を終わった。午後は協賛メーカーの商品説明とか新商品の説明がビデオを見ながら行われた。興味のある話などは時間がたつのが早いもので、最後のプログラムの福引きになった。毎年協賛メーカー、商社の協力でたくさんのお景品があり楽しい催しだ。新春板金セミナーは9月頃から準備にかかるとのことと役員苦労が伺える。 驚見

支部だより

マキタ電機岡崎工場を

見学して

江南 今井

二月二日、三日の日程で、池田商店S1会研修旅行での工場見学であった。朝八時半、名古屋駅西側へ集合、バス四台に分乗、出発マキタ電機岡崎工場へは、一時間少々で着き大會議室へ案内された。ここでは板金工具や溶接機等展示されている。今回は販売もされるのであるのか、それが熱心に商品を見ていた。私は最初買う気はしなかったが、説明等を聞くうち買ってしまった。それも高価な物を、後日自分の作業場へ配達され早速使ってみたが思うように使えず少々不安になっ

たが、そのうちに慣れることであると思いつ自身を慰める始末。工場内の見学では、電動工具の賢臓に当るモーターが出来るまでの流れを見て廻りましたが、すべての加工機はNCによって自動化され、作業員は少なく工場内は広く空間が持たれ、通路の中も広く機械と機械の間が広く取って安全面で充分配慮されていた。

一本の鉄棒から削り磨かれて出来るまで人の手に触れず仕上がる様は感心した。

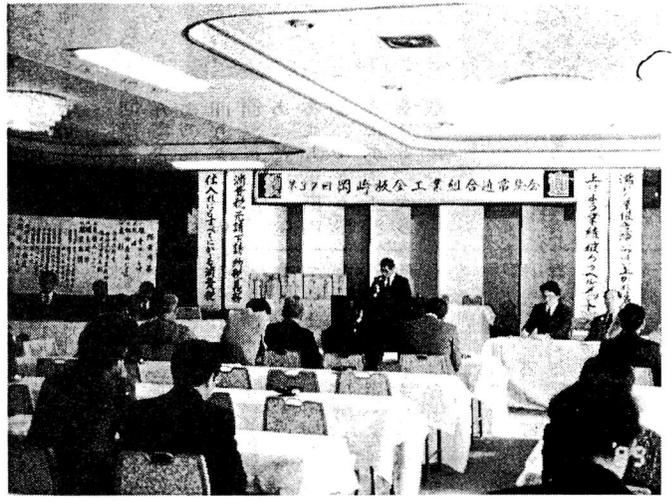
この後、焼津ランドホテルに向った。

岡崎板金工業組合

第37回 通常総会開催

平成元年二月十二日三谷温泉、ホテル松風園で、午後一時より、通常総会が開かれました。

榎山氏の司会で始まり、山本組合長あいさつ、優秀技能者（愛知県知事表彰）山本文一氏、加藤準一氏、鈴木二郎氏の紹介。来賓のあいさつをいただいたあと、議長に内山氏を選出して、六十三年度



事業報告、会計報告、平成元年度予算案の審議が行われ、質疑・応答のあと各議案が拍手を持って、承認されました。

スローガン「仕入れにも、すべてにかかる消費税」「消費税、元請、下請、納税義務」「上げよう業績、被ろう、ヘルメット」が、石原副組合長より発表がありました。

閉会の言葉のあと、県板より紹介の、特別講演「消費税と板金業」と題して、会計士の丸山先生より話をいただきました。

しかし、複雑というか、私達の勉強不足と言いますか、免税点(三千万)以下の板金店が多くて、楽観しているのか、消費税に対して今少し、理解できませんでしたが、材料には税が転嫁されてくるのですから、その分だけでも転嫁したり、組合でカルテルの作成も考えて行かなければと思いつながら、わからないながらも四月一日より実施されるのです。頭が痛いですね。

「名古屋市長古屋市外堀公館(仮称)」

現場研修会を行なう

愛板青年部

2月15日現在銅屋根工事中の「名古屋市長古屋市外堀公館(仮称)」を見学、午後一時半愛知県庁前に集合、全員ヘルメット、安全帯をして現場に入った。現場では、元担ビュートイ工業㈱の長塚氏の説明で施工中の棟から軒先まで葺けるパッキング工法を見学した。

このパッキング工法は、工期の短縮化、足場諸経費の軽減、施工時の安全性、面材の踏み汚れ防止など画期的な工法で、構造はRCの銅板が使用され、工事は七月頃完成が予定

愛板青年部

また翌日は、第十回岡板ゴルフ大会が吉良カントリーであり、強風の中、二十三名の参加者があり、一日プレ1を楽しみました。結果は、優勝中村幸成、二位甲部安男、三位石原鉄司各氏でした。



されている。

その後、岡崎の高柳さんが施工された、旧裁判所を見学する事ができた。現在は内部の左官工事が行われており、屋根工事は前に一度工事中に見学しており、今度はそれを想い出しながら工事完了後を見学したので大変参考になった。

重要文化財として残す事になった旧裁判所ではハンダ付に火を使わず電気が使われる作業で苦労されたそうで、丸窓の絞り込みや棟木切押え、笠木等見る物すべてが板金芸術の集まりに思えた。この工事は毎日七人工位で約一年かかったそうです。

第4回

厨房用ダクト講習会開催

さる2月19日(日)太白区平針の(株)栄栄工業所で開催された。17日18日とぐずついた天気も19日は朝から快晴で暖かい一日であった。会場は県板副理事長であり名古屋ダクト組合理事長の村上章氏の工場の2階会議室で組合員18名が参加して午前9時30分から行われた。始めに平野理事長、村上委員長から挨拶があり、司会の相馬さんから今日の講師の石浜、加藤、森山、稲垣、の各先生がたの紹介があった。1時間目の講義は加藤先生で、厨房用ダクトの基礎知識を勉強した。天蓋フードの大きさは発生源より周囲を150mm大きくすることとか、ダクトのサイズの決め方を学んだ。

2時間目は森山講師の講義で、ダクトの形状は断面が円形が理想であるが、角形の場合には正方形が最も適し長方形にしても1:3とか最大でも1:4以内で製作しなければならぬ、ダクト内は気流の抵抗と同じ断面積で丸3.14に対して正方形3.54の割合になる。



また断面積が1㎡の角ダクトを比較した場合でも1m×1mと2m×0.5mとでは周長が4mと5mとなり2m×0.5mのダクトの方が抵抗は大きくなるので、出来るだけ周長を小さくするのが望ましい。また補強リブは見える場所は、見た目にも良いようにいれる。フランジの大きさは円形の場合は2mm大きく角形の場合はダクト寸法より5mm大きくすると良いなどを勉強して午前中の講習を終えた。昼食後は稲垣講師からグリスタイルターの講義があり、最近はおイルフィルターよりバフ

レスシユフィルターのほうが多く使用されているとのことだ。また防火ダンパーやフランジ及び吊り金具のピッチなどの勉強をした。

4時間目は石浜講師の講義で積算の勉強をした。ダクトの長さの拾いだしから材料の算出、板厚の決定、部材の数量など積算する。ダクトの板取では20%ぐらいのロスを見ておかないといけない。これら材料費、加工費、部材費、消耗品費、運賃、などが工事費となる。ほかに運搬は4t車で200mぐらい運べる。とか、簡易積算法を勉強して4時30分終了した。

私が今回講習を受けたのは、異様な曲りダクトの簡易板取法であった。日頃あまり手掛けないダクトや厚板の加工法を知り、大変勉強になった。

驚 見

東三青年部

研修旅行

去る二月十九日新城へ、研修旅行に行ってきた。新城は、豊橋から約三十分程で行ける所です。場所は、新城市の馬場板金所、午後一時三十分集合、参加者十余名程でした。

これには親組合の近藤さんよりの紹介で、つば作りの打出方の指導をしてくださるそうですから、青年部の人達で一度教えてもらってはと声がかかり、部長がお願いです。事務所へ入って見るといろいろな作品が沢山飾ってあり、皆んなびっくりしました。なんと皆んなでやつて見ようと、つば作り、丸華作りに挑戦しました。丸華は思ったより簡単に出来ました。つばの方はなかなかうまくいきませんでした。先生からは二日もすれば完成すると、励みの言葉もあつた。皆んな一生懸命でした。三分「板厚は真鍮一ミリ」



五時過ぎまでかかりました。それから場所をかえて、豊橋においてあります石巻山において先生を迎え反省会をしました。翌朝解散しました。

又、機会があれば、皆んなでつばを完成に行きたいなあ。部長さん、企画をやって見ましよう。皆さんも勉強になりますよ。

馬場先生、有難度う御座居ました。又遊びに行きたいと思っておりますので、その折はよろしく。

部長さん、良い企画どうも有難度う。御苦労様でした。

東三 脇坂

お知らせ

保険料について 全板国民健康保険組合  
平成元年4月1日からの保険料は次のとおり変更になります。  
・組合員 月額 10,100円  
・家族 一人につき月額 3,300円  
・支部手数料 一世帯 月額 300円

FAX番号変更のご案内

3月7日より下記のとおりFAX専用の回線を設置致しましたのでご案内致します。

FAX<052>732-1733番

編集後記

例年より一週間おくれの「春一番」が東海地方を吹きぬけた。毎年、冬季の中で二月が一番寒いはずなのだが、今年の二月は、0度以下の冬日が一日もないのは、どうした事なのだろう。冬らしくない冬で、まさに暖冬異変である。外で作業をする我々板金業者にとって、寒くないのは大変ありがたいう事であるのだが、暖かきの反面、日变りの雨には泣かされる。年度末工事や納期のある現場作業のおくれは頭がいたい。

やはり春夏秋冬、それぞれ気候でないと、自然の営みに狂いが生

じてしまう。かと思つて、無限の世界の事は、いくら知能の高い人間の力でもつてしても、いかんともしがたく、自然の力ほど恐ろしいものはない。

暖冬のせい、梅花も満開になって、春の足音は日一日と近づいて来る。本当に此のままで春になってしまうのだろうか。

暖冬異変のお返しが来るような気がしてならないのだが？

現代病と云われる「花粉症」や「アトピー性皮膚炎」の人には、辛い季節が訪れようとしている。

二月二十八日(火) 曇  
二二六号 編集会議  
委員 三名出席  
午後五時終了 (S)